

兵庫県山岳連盟同調

自然観察山歩「陽春の尾根歩きを楽しむ」

布引支部 W夫

瑞宝寺谷西尾根は登山マップにも登山道が表示されてなく、好奇心をそそり登る前から楽しみでした。

約60名の参加者は午前9時半過ぎに瑞宝寺公園を出発。沢を何度か横切り、展望台に



筆屋道手前にある展望台で一休み

到着。六甲の南面では終わりがけのコバノミツバツツジがちょうど見頃を迎えていました。木々の緑の中にツツジのピンク色が散りばめられ、大自然のパノラマに心が癒されました。展望台を出発後間もなく、瑞宝寺谷西尾根への分岐点で二班に分かれま



ミヤコザサの尾根筋を行く

した。私はもちろん瑞宝寺谷西尾根を登りました。登山道に生息している植物を教わり（熊笹とばかり思っていたのは、実は「ミヤコザサ」だったり、「イワカガミ」の葉は鏡のように光っているのでその名がついた等々）、また地図の読み方を教授いただきながら痩せた岩尾根を登ったり、小キレットを通過したりと難路を楽しみながらクリアー。12時過ぎに「石の宝殿」で予定通り他班と合流しました。

昼食後、神戸自然保護官事務所の高橋アクティブレンジャーさんより瀬戸内海国立公園についての説明があり、続いてこの時期



説明に聞き入る参加者

ハイカーや登山者を悩ませる「毛虫」についての話がありました。毒のある毛虫について写真で説明をしていただきました。吉野自然保護委員長からは、六甲山の植物は1500種もありますという説明を聞き、その多さに驚きました。記念撮影後、帰りは蛇谷北山から土樋割峠へ。ここで解散し、バスで下りる人と東おたふく山へ下る人と別れました。天気もよく、本当に「陽春の尾根歩き」にふさわしい一日でした。



全員集合。参加者 58 名は自然観察山歩では過去最高数でした！（石の宝殿にて）